

とにある。原発巣のコントロールが困難で短期生存しか見込めない例では保存的治療の対象、脳転移巣がコントロールされればある程度の期間、生存が期待される場合には積極的に全摘出をめざしたいと考えている。

4) 外科的治療を行った孤立性転移性脳腫瘍の検討

外山 孚・原 直行 (長岡赤十字病院)
小田 温・玉谷 真一 (脳神経外科)

昭和55年1月～平成1年12月の10年間に当科で外科的処置を受けた single brain metastasis 40例について検討した。shunt 手術や decompression のみの手術は除いた。

Primary lesion は肺癌が25人 (62.5%) と最も多く病理像は腺癌と扁平上皮癌で2/3を占めていた。転移性脳腫瘍手術後の平均寿命は6.2ヶ月。死因をみると原発巣によるもの16例 (40%)、転移性脳腫瘍によるもの10例 (25%) であった。

病理診断と予後を比較すると組織像による違いはみられなかった。肺癌に限って25例の治療法と開頭術後の予後を比較すると根治手術＋化学療法に6ヶ月生存率が高く、転移性脳腫瘍が発見されてから肺癌が発見されたものは6ヶ月生存率が低かった。転移巣発見時の原発巣の状態と予後をみると、primary が cure の場合6ヶ月生存率84.6%、primary が recurrence では0%、他部位転移の場合は50%であった。転移性脳腫瘍の治療と予後をみると、外科的処置単独では6ヶ月生存率は37.5%、外科的＋照射＋化学療法の場合は61.1%であった。予後を決める決定的因子は特でない。

長期生存の要素として、原発巣の治癒、他臓器への転移のないこと、脳転移先行でないことがあげられる。

転移巣手術後5年、10年の生存例を報告した。肺癌原発で小脳、右後頭葉に転移巣があり全摘し照射と化学療法を施行。病理像は腺癌と扁平上皮癌であったが、原発巣転移ともに病理学的な共通点として、癌細胞を取り囲む様に形質細胞、リンパ球、顆粒球が集簇しており、非常に免疫反応が強く現れていた。予後不良例にはこうした病理像はみられず、個体の免疫反応の強さが予後に大きく関係することを示唆する所見と思われた。5年生存率に radiation induced dementia がみられた。CT、MRI で脳萎縮、白質の低吸収域化が著明であった。

5) 転移性脳腫瘍の治療経験

柿沼 健一・大塚 顕久 (長野赤十字病院)
市川 昭道・長島 和彦 (脳神経外科)
西野 和彦

(対象, 方法) 過去5年間に当科で治療を行ない転帰までを追跡し得た転移性脳腫瘍30例について、(1)経過、死亡原因、(2)放射線療法、(3)化学療法、(4)手術療法各々の有効性、(5)原発巣不明例の経過から考察を加えた。(結果) (1)経過: follow up 中の3例 (1～17M) を除いて全例が死亡し、神経学的症状発現からは全経過5D～24M (平均 11.2M) であった。死亡原因は脳転移巣によるもの10例、原発巣によるもの13例、医源性のもの3例であった。(2)放射線療法は24例に行なわれ、CT上消失、縮小したものは15例だったが、不変あるいは増悪したものは9例であった。また follow up中の3例と3M以内の短期死亡4例を除くと17例中14例が再発し、再発を免れたものは3例であった。再発例は総て12M以内に再発しこのうち10例は再発巣が死亡原因となった。再発を免れた3例は12M以上生存し、原発巣が死亡原因となった。(3)化学療法は8例に施行されたが特に有効と思われたものは無かった。(4)摘出術は10例に行なわれ follow up 中の3例を除く7例全例が死亡し、このうち5例は再発 (4例は手術同部位に再発) した。(5)原発巣不明のものは2例があった。1例は症状発現より10Mを経て原発巣が判明したがこの原発巣により死亡した。(全経過 15M) 1例は78才の高令者で転移巣摘出後経過は良好であったが放射線治療により脳萎縮と全身状態の悪化を来し死亡した。(全経過 6M)。autopsy で silent な原発巣が発見された。(結論)放射線療法と手術療法により症状の一時的な寛快は得られても必ずしも再発は免れず、この原発巣が死亡原因となることが多い。今後はこの観点にたつて放射線療法と手術療法の再検討が必要であると考えられる。

6) 我々が経験した転移性脳腫瘍120例

—その予後に関連して—

西田 和男・小池 俊朗 (新潟市民病院)
清野 修・本多 拓 (脳神経外科)

我々が経験した脳転移癌 120例の中から、現在生存例と消息不明例を除いた100例について述べる。平均生存期間は7.5ヶ月、生存曲線は、5年、3年生存率は1%、2年、1年、6ヶ月、3ヶ月のそれは、5%、23%、43%、71%である。原発癌死40%と脳転移癌死44%で差はない。初発症状が原発巣からと、脳転移巣からでも生存期間に差はない。70才以上とそれ以下の平均生存期間

にも差はない。ただ治療方法別の平均生存期間は、化学療法のみを比率1とすると、照射と化学療法2、手術と化学療法2、照射、手術と化学療法2.5となる。術後照射までの期間別では、20日以内で、6カ月以上生存例が25%を占め、20日過ぎて、6カ月内生存例は3%と非常に少ない。70才以上例で抗腫瘍剤別にみると、6カ月以上生存例は、テガフルのみの投与が多く、6カ月内生存例は、テガフルに他剤併用か非投与が多くなっている。

以上の分析から予後向上の為、治療方法の具体的判断基準として、以下の3点を列挙する。①手術は2カ月以上生存可能と判断した症例で、表在性単発、近接する多病巣の場合に行い、全摘出し、外減圧は不要、②照射は全身状態の許す限り行い、摘出術後、20日以内に全脳照射を開始する、③化学療法は初期療法としても、維持療法としても、70才以上ではテガフルのみの投与とする。

これらに加えて、癌原発巣の早期発見、完治治療と転移対策が大切で、その為には、内科、外科医師との共同のプロジェクトが必要で、特に脳転移に対しては、転移させない方法と早期発見の具体的な手段の開発が求められる。

7) 当科における転移性脳腫瘍の検討

井上 明・佐藤 進 (山形県立中央病院)
 関口賢太郎・谷口 禎規 (救命救急センター)
 渡辺 徹 (脳神経外科)

転移性脳腫瘍の治療成績について検討し報告した。[対象, 方法] 1965年から1989年までの25年間に経験した151例の転移性脳腫瘍のうち、CT以後で、追跡不能例、髄膜癌腫症、初期治療中の脱落例を除く73例について、奏効率(CR+PR)と、奏効期間、Median Survival Time(MST)を調べ、治療別に比較した。また、各症例の治療によるQuality of lifeをみる目的でKarnofsky scale(KS)の推移を調べ検討した。[結果] ①治療別の奏効率と奏効期間は各々、手術単独群:67%, 12週, 手術+照射群:93%, 41週, 手術+照射+化学療法群:100%, 30週, 手術+化学療法群:100%, 9週, 照射単独群:50%, 22週, 照射+化学療法:73%, 21週であった。MSTは、手術+照射あるいは手術+照射+化学療法群が54週, 手術単独群が37週, 照射単独あるいは照射+化学療法群が30週であった。②KSの推移から、3群に分けることができた。A群:治療初期からKS80以上で、治療中もこのレベルから低下のない群(23例)。B

群:治療初期は80以下であったレベルが治療によって80以上になった群(23例)。C群:治療によってもKSが上昇しない群(27例)。奏効率と奏効期間およびMSTは各々、A群:87%, 39週, 58週, B群:78%, 24週, 39週, C群:48%, 12週, 19週であった。各群の年齢ではB群で50歳代の症例が多かった。性別の差は認められなかった。原発臓器別頻度は、C群で消化器、泌尿器生殖器、頭頸部の割合が他の群に比較して多い傾向があった。治療開始時のKSをB群とC群で比較するとC群の方が低い傾向があった。[結語] ①転移性脳腫瘍の治療別予後からは、手術+照射あるいは手術+照射+化学療法が良好であった。②KSの推移の検討から、治療に際してはKSを高く保つことが重要と思われ、KS80以上の例は長期予後が期待できる。KS70以下でも年齢が若く手術を中心とする治療に反応がある例はuseful lifeを送れる可能性がある。

8) 当科における転移性脳腫瘍の治療成績

北村 洋史・佐藤 清 (山形大学)
 山田 潔忠・中井 昂 (脳神経外科)

我々は転移性脳腫瘍43例に治療成績を基にどの様な要因が予後に影響を与えるかについて検討した。症例は男性28例, 女性15例であった。年齢は9歳から72歳で平均年齢は55歳であった。入院時の臨床症状はperformance status(以下P.Sと略す)0は1例, P.S1は11例, P.S2は15例, P.S3は14例, P.S4は2例であった。発は25例, 多発は16例, 髄腔内播種は2例であった。18例は脳転移巣が先行して認められ他の25例は原発巣診断から平均21.8カ月後に脳への転移が認められた。全症例の平均生存期間は7.8カ月で1年生存率は30.6%であった。

予後の良好な要因には以下のものがあつた。

- 入院時臨床症状良好例
- 全摘出例
- 放射線療法施行例

予後に有意差が認められなかったものには以下のものがあつた。

- 年 齢
- 単発例と多発例
- 原発巣先行型と脳転移先行型
- 化学療法施行例と未施行例